

ネイティブヒトアラニンアミノトランスフェラーゼ

Cat. No. NATE-0067

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 アラニン転移酵素 (ALT) は、転移酵素 (EC 2.6.1.2) です。アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALAT) とも呼ばれ、以前は血清グルタミン酸-ピルビン酸転移酵素 (SGPT) または血清グルタミン酸-ピルビン酸転移酵素 (SGPT) と呼ばれていました。ALTは血漿およびさまざまな体組織に存在しますが、最も一般的には肝臓にあります。ALTはアラニンサイクルの2つの部分を触媒します。血清ALTレベル、血清AST (アスパラギン酸転移酵素) レベル、およびそれらの比率 (AST/ALT比) は、肝臓の健康のバイオマーカーとして臨床的に一般的に測定されます。これらの項目は血液パネルの一部です。

別名 アラニン転移酵素; ALT; EC 2.6.1.2; アラニンアミノトランスフェラーゼ; ALAT; グルタミン酸-ピルビン酸転移酵素; グルタミン酸-アラニン転移酵素; GPT; β -アラニンアミノトランスフェラーゼ; アラニン- α -ケトグルタル酸アミノトランスフェラーゼ; アラニン-ピルビン酸アミノトランスフェラーゼ; グルタミン酸-ピルビン酸転移酵素; グルタミン酸-ピルビン酸アミノトランスフェラーゼ; L-アラニンアミノトランスフェラーゼ; L-アラニン転移酵素; L-アラニン- α -ケトグルタル酸アミノトランスフェラーゼ; ピルビン酸転移酵素; ピルビン酸-アラニンアミノトランスフェラーゼ; ピルビン酸-グルタミン酸転移酵素

製品情報

種	人間
由来	人間の心臓
形態	液体
EC番号	EC 2.6.1.2
CAS登録番号	9000-86-6
純度	浄化された
活性	> 250 U/mL (ディメンション臨床化学システム)
混入物	AST/GOT: 2.0% LDH: 1.0% ALP: 1.0% gGT: 1.0% 注: カスタム精製が可能です。
特異性	> 10 U/mg タンパク質
代謝経路	アラニンおよびアスパラギン酸の代謝、特定の生物系; アラニン、アスパラギン酸およびグルタミン酸の代謝、特定の生物系; アラニン、アスパラギン酸およびグルタミン酸の代謝、保存された生物系; アミノ酸の合成と相互交換 (トランスアミネーション)、特定の生物系; 代謝経路、特定の生物系; 代謝、特定の生物系; アミノ酸およびその誘導体の代謝、特定の生物系
機能	1-アミノシクロプロパン-1-カルボキシレートシンターゼ活性; L-アラニン:2-オキシグルタル酸アミノトランスフェラーゼ活性; L-アラニン:2-オキシグルタル酸アミノトランスフェラーゼ活性; ピリドキサルリン酸結合; トランスアミナーゼ活性
単位定義	1ユニットは、37°CおよびpH 7.4で、1分あたり1マイクロモルのL-アラニンを α -ケトグルタル酸にトランスアミネーションし、L-グルタミン酸とピルビン酸を形成します。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C

